# 令和6事業年度決算報告書

事業報告 · 財務諸表

公益財団法人 市原市文化振興財団

# 令和6事業年度

## 公益財団法人市原市文化振興財団事業報告 概要

当財団は、市原市の芸術文化、生涯学習及びコミュニティを振興するため、財団の持つ専門性や総合力を活かしながら、「市原市文化振興計画」の基本理念である「ひと輝き まち輝く 文化の香り高いまち いちはら」を念頭に、行政や市民をはじめ、各種文化団体等と連携・協力しながら市内の芸術文化の振興等に寄与するため各種事業を実施しております。

令和6事業年度については、市原市市民会館(以下「市民会館」という。)が市内文化振興の拠点として開館して以来、50周年の節目を迎えたことから、市民会館開館50周年を記念した事業を展開したほか、様々な世代を対象とした文化事業等の実施に積極的に取り組みました。

また、施設の設置目的である「市民の文化及び教育の向上並びに福祉の増進」を念頭に、更なる市民サービスの向上を目指し、市民が安心・安全に市民会館施設を利用できるよう管理運営に努めました。

#### 【公益目的事業】

文化事業については、事業計画に沿って、自主文化事業、指定管理文化事業及び受託文化事業の合計 35事業を実施することができました。

市民会館開館 5 0周年記念事業の市民参加による「出張!なんでも鑑定団 in 市原」公開収録や、市原市文化団体連合会と協働し拡大して実施した「文化芸術ワークショップ」、市原市に縁のある著名人を迎えての公演等を実施したほか、有名アーティストの音楽公演などの鑑賞型事業や、昨年開催された「エンジン 0 1 in 市原」を一過性のイベントとして終わらせることなく、「学びのまち」のレガシーとして引き継いでいくことを目的とした「エンジン 0 2 in 市原」を市原市と連携を図りながら実施するなど、様々な世代に工夫を凝らした事業展開を図ることで、市民がより身近に文化芸術に親しむことのできる機会の提供に努めました。また、市内の小学校での「出前講座サイエンスショー」や、商業施設等に出向く「市民力活用事業まちくる!」等のアウトリーチ型事業、中学校の文化部活動の地域へのスムーズな移行に繋げることを目的とした「市原市中学生吹奏楽地域活性化事業」を継続して実施するなど、地域や教育機関との交流を深めることで、市内の芸術文化、生涯学習及びコミュニティの振興を図りました。

施設管理事業については、市民会館施設の老朽化が進行するなか、利用に支障が出ないよう修繕等を 実施するなど、施設の維持管理に努め、市民が安心・安全に利用できる施設運営を行いました。

## 【収益事業等】

令和6事業年度の宴会室での飲食提供事業については、会議室棟3階を使用してきた新型コロナウイルスワクチン事務局が、令和6年4月以降、運営場所を4階宴会室に移し、同年7月末まで使用したため休止となり、その後についても休止しております。また、各種公演のチケット受託販売事業と舞台看板、ピアノ調律等の施設利用者の利便性向上のための事業を精力的に行い、これら二つの事業を合わせた収益は、令和5事業年度と比較し増加しました。

# I 公益目的事業

# 1 文化事業

# (1) 自主文化事業

財団の自主文化事業として、中学校文化部活動の地域へのスムーズな移行に繋げることを目的とした事業や、市内の学校や公共施設等へ出向いてのアウトリーチ型事業、動画による公演の配信、文化芸術に携わる人々を育成・支援する文化振興ボランティア事業やアーティストの登録・育成事業などを実施しました。

①自主文化事業(動画再生回数は令和7年3月31日時点)

	- NIC 6	実施日及び	入場者数	- NIC TITE - TE
番号	事業名	実施会場	視聴回数	事業概要
	いちはら	令和7年3月3	11 日現在	財団主催の事業や市民団体等が主催するイ
	Artists Power	登録アーティス	ペト数 45組	ベントに出演していただける文化芸術アー
		アーティスト紹	召介数 4組	ティストを募集・登録し、アーティストに活
1				躍の場を提供するほか、文化芸術の力で市原
				市をもっと元気にすることを目的とする育
				成型事業。
	いちはら	令和7年3月3	11 日現在	財団が主催する事業において、運営をサポー
2	文化振興ボランティア	登録ボランティ	ア数 23名	トしていただくボランティアを募集・登録す
2		ボランティア参	≽加数 10 名	ることで、文化振興に参加する人材を育成す
				る育成型事業。
	文化情報紙	年4回発行		財団の文化事業の情報や市民会館のイベン
3	「おんぷ」			ト情報等を掲載する文化情報紙を発行する
				広報事業。
	SNS	令和7年3月3	31 日現在	SNSで発信する財団の文化事業の情報や
4	フォロワーアップ広報	フォロワー数:	3,877名	市民会館のイベント情報等をより多くの人
4	事業			に届けられるようにフォロワー数を増やす
				ことを目的とする広報事業。
	市原市中学生吹奏楽地	【練習講座】	46 名	部活動の地域移行を踏まえ、市民演奏団体の
	域活性化事業	6月2日		参加、学校外での練習場所の確保や外部講師
5		国分寺台西		による指導等を実際に行うことにより、その
υ		中学校		後スムーズな移行に繋げることを目的とす
		【演奏会】	470名	る事業。
		9月28日		

		大ホール		
	出前講座	6月3日	3, 261 名	市内各小学校に出向き、市原市の将来を担う
	サイエンスショー	4 日		子供達に科学のおもしろさを伝えるととも
6		5 日		に不思議な体験から、児童達の自己啓発を促
		市内小学校		し、生涯学習の一助となることを目的とする
				生涯学習事業。
	伝統芸能普及事業	6月18日	1,064名	市内各小学校に出向き日本の伝統芸能を普
7	「かぶき」ってなんだ	19 日		及し、体験を交えて身近なものに感じられる
	ろう!?	市内小学校		ことを目的とする生涯学習事業。
	フルート教室	7月28日	41 名	木管楽器として人気のフルートに触れてみ
0	はじめてのフルート	大ホール		たいと考える子供たちにその機会を提供す
8	in 市原	(舞台上)		ることで、文化芸術の振興を目的とする参
				加・体験型事業。
	石田組コンサート	9月16日	1,315名	人気弦楽アンサンブルの公演を実施するこ
9		大ホール		とで、市原市民に高度な舞台芸術や音楽に触
9				れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的と
				する鑑賞型事業。
	「まちくる!」			「いちはら Artists Power」登録アーティス
				ト等を活用し、市内各所でイベントを実施す
				るほか、動画共有サイトにてミニコンサート
				を動画配信する等、アーティスト育成及び市
				原市の芸術文化活動振興を目的とする育成・
				鑑賞型事業。
	vol. 43			
10	Autumn Family Concert	令和6年	200名	サックスデュオ「八幡姉妹」によるコンサー
		11月17日		۴.
		ユニモちはら		
		台		
	vol. 44			
	動画配信バージョン	動画配信	視聴回数	ジャズオーケスラ「市原 Dragon Horse jazz
	世代を超えて楽しむ	令和7年	97 回	Orchestra」によるコンサート。
	ジャズコンサート	3月31日公開		

	市原市市民会館	令和7年	(1回目)	市民会館開館 50 周年を記念し、市原市に縁
1.1	開館 50 周年記念事業	2月9日	703名	のある方を招聘することで、市原市民に学び
11	でんじろう先生の「おも	大ホール	(2 回目)	の場を提供することを目的とする鑑賞型事
	しろ」サイエンスショー		446 名	業。

# ②共催公演事業

番号	事業名	実施日及び 実施会場	入場者数	事業概要
	杉山清貴&	令和6年	1,450名	人気アーティストの公演を共催することで、
1	オメガトライブ	5月19日		市民が芸術文化に触れる機会を増やすこと
	コンサート	大ホール		を目的とした鑑賞型事業。
				【主催】㈱ネクストロード・プロダクション
	稲川淳二の怪談ナイト	7月21日	743 名	豪華なセットと怪談話による公演を共催す
2		大ホール		ることで、市民が芸術文化に触れる機会を増
2				やすことを目的とした鑑賞型事業。
				【主催】㈱ケーエムミュージック
	オレンジレンジ	10月19日	1,356名	人気アーティストの公演を共催することで、
3	コンサート	大ホール		市民が芸術文化に触れる機会を増やすこと
3				を目的とした鑑賞型事業。
				【主催】㈱エニー
	市原市楽友協会	12月15日	744 名	市内の音楽愛好家団体の公演を共催するこ
4	市民コンサート	大ホール		とで、市民に音楽文化を広めることを目的と
4				した鑑賞型事業。
				【主催】市原市楽友協会
	緑黄色社会	令和7年	1,469名	人気アーティストの公演を共催することで、
5	コンサート	3月8日		市民が芸術文化に触れる機会を増やすこと
5		大ホール		を目的とした鑑賞型事業。
				【主催】㈱キョードー東京
	千葉交響楽団	3月23日	1,200名	千葉県唯一のプロのオーケストラである千
	特別演奏会	大ホール		葉交響楽団の公演を共催することで、市民に
6				音楽文化を広めることを目的とした鑑賞型
				事業。
				【主催】公益財団法人千葉交響楽団

# ③支援事業

令和6事業年度の支援事業の実施はありませんでした。

# (2) 指定管理文化事業

市民会館施設の設置目的を達成するための事業で、優れた芸術文化を創造・鑑賞・体験する機会を提供するために、市民会館を市原市の文化の拠点と位置づけ、次の事業を実施しました。

		実施日及び	入場者数	
番号	事 業 名	実施会場	視聴回数	事業概要
	市原市市民会館	令和6年	687 名	市民会館開館 50 周年を記念し、市原市に縁
	開館 50 周年記念事業	4月20日		のある人気ものまねタレントの公演を実施
1	坂本冬休み凱旋コンサ	大ホール		することで、市原市民に笑いや音楽に触れる
	<b>-</b> F			機会を提供し、文化芸術の振興を目的とする
				鑑賞型事業。
	県民芸術劇場	6月1日	414 名	0 歳からの子供を対象に室内楽コンサート
	親子で楽しむ	小ホール		を開催し、聴くだけでなく実際に楽器演奏体
2	室内管弦楽コンサート			験をすることで、未来を担う子供達にクラシ
				ック音楽の素晴らしさを感じてもらうこと
				を目的とする体験・鑑賞型事業。
	森高千里コンサート	6月8日	1,430名	人気アーティストの公演を実施することで、
3		大ホール		市原市民に高度な舞台技術や音楽に触れる
3				機会を提供し、文化芸術の振興を目的とする
				事業。
	音楽家支援コンサート	6月23日	1,150名	千葉県に縁のある演奏家をメインにした千
	「若い芽のαコンサー	大ホール		葉交響楽団によるクラシックコンサートで、
4	٢١			地元演奏家に公演の機会を提供することに
				より県内から優秀な演奏家を輩出する土壌
				を育むことを目的とする支援・鑑賞型事業。
	芸術家支援・育成事業	7月6日	参加者数	新進芸術家等を目指す参加者に、質の高いプ
5	「バレエレッスン」	大ホール	26 名	口による実践的な講習会を提供することで、
5			観覧者数	次代を担う芸術家を育成することを目的と
			19 名	する支援・育成事業。
6	市民会館探検ツアー	7月26日・27日		市民会館の裏側をより深く知ってもらい、舞
		大ホール及び小	ホール	台技術や舞台芸術への興味・関心を啓発する

		26日 (1回目) 48名		ために実施した参加・体験型事業。
		(2回目)39名		
		27日 (1回目) 44名		
		(2 回	]目)38名	
	市原市市民会館	8月4日	42 名	市原市文化団体連合会と連携し、将来の芸術
	開館 50 周年記念事業	会議室棟		家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造
	文化芸術ワークショッ	8月24日	43 名	や地域文化の活性化につなげることを目的
7	プ	ホール棟		としたワークショップを記念事業として拡
,		8月25日	33 名	大して実施する育成型事業。
		ホール棟		
		9月1日	69 名	
		会議室棟		
	市原市文化祭			地域の伝統や文化を育み伝承していくため、
				市民が文化活動で鍛錬した成果発表の場を
				設けることで、市民文化活動の活性化を図る
				ことを目的とし、市民と協働し元気なふるさ
				とづくりを目指す参加・鑑賞型事業。
	「三曲大会」	9月29日	120 名	市民や団体が箏、三弦、尺八の3種の楽器を
		小ホール		用いて、古曲、現代曲等の演奏を披露する文
				化公演。
	「合唱祭」	9月29日	300 名	市民や団体が女声、男声、混声、手話コーラ
8		大ホール		スなどの合唱を披露する文化公演。
	「工芸展」	10月5日・6日	485 名	ガラス工芸や陶芸、木工、染色、磁器絵付け
		会議室棟		などを展示する文化事業。
	「謡曲大会」	10月12日	20 名	幅広い世代の市民や団体が能の詞章を謡う
		小ホール		謡曲を中心に披露する文化公演。
	「アンサンブルフェス	10月12日	300 名	各種の楽器演奏団が様々な形態の合奏を披
	タ」	大ホール		露する文化公演。
	「音の輪きずな祭」	10月13日	110名	音を楽しみ音でつながる新たな演舞スタイ
		大ホール		ルを披露する文化公演。
	「短歌大会」	10月20日	37 名	市民が応募した短歌を発表する文化事業。
		会議室棟		

	「吟詠剣詩舞大会」	10月20日	150 名	市民や団体が吟詠に合わせ舞う剣舞と詩舞
		小ホール		という古武道の格式と詩の心を表現する文
				化公演。
	「民舞大会」	10月20日	300 名	市内の舞踊各流派の団体が、艶やかな着物姿
		大ホール		で踊りを披露する文化公演。
	「俳句大会」	11月2日	58 名	市民が投句した詩を発表する文化事業
		会議室棟		
	「茶会」	11月10日	281 名	市民や団体が茶の作法を伝え、披露する文化
		会議室棟		事業。
	「民謡秋まつり」	11月10日	200名	市民や団体が豊作、祭などに彩られる秋を舞
		小ホール		台上で唄、三味線等で表現する文化公演。
	「ハワイアンフラ祭り」	11月10日	500名	市民や団体がハワイアンフラの魅力を伝え、
		大ホール		披露する文化公演。
	「郷土芸能大会」	11月24日	150 名	市内各地域で伝承される郷土芸能である「お
		小ホール		囃子」や「ひょっとこ踊り」などを披露する
				文化公演。
	「歌謡祭」	12月8日	200 名	市民や団体が日頃から練習している歌謡を
		小ホール		披露する文化公演。
	「バレエ公演」	12月8日	600名	市民や団体がバレエの華麗な舞を披露する
		大ホール		文化公演。
	※市民会館以外の会場で	は、次の催物を実	尾施 しました	<del>-</del> -0
	「美術展」「盆栽展」「	華道展」「菊花展」	」「朗読音楽	[ [ ]
	市原市市民会館	9月15日	1,288名	市民会館開館 50 周年を記念し、市民が気軽
9	開館 50 周年記念事業	大ホール		に参加できる事業として、人気テレビ番組の
3	「出張!なんでも鑑定			公開収録を実施し、市民と作り上げることを
	団 in 市原」公開収録			目的とする参加型事業。
	生涯学習支援			
	「市原市中学校音楽	10月31日	1,500名	市内の小・中学生が芸術文化活動の成果を発
	発表会」	大ホール		表する場を設け、音楽芸術の向上と地域社会
10	「市原市小学校音楽	11月1日	1,500名	の活性化を図ることを目的とする参加・鑑賞
	発表会」	大ホール		型事業。
	「特連文化フェスティ	12月13日	651 名	市内小中学校特別支援学級及び千葉県立市
	バル」	大ホール		原特別支援学校の学生が日頃の学習や文化

				的活動を発表する場を設け、芸術文化に親し
				むことで地域コミュニティの交流と教育の
				向上並びに福祉の増進を図ることを目的と
				する参加・鑑賞型事業。
	市民の日記念	11月3日	1,240名	市内の小中学校・高等学校吹奏楽部及び合唱
	夢の架け橋コンサート	大ホール		部で、各種大会及び音楽コンクールなどに出
11				場し各賞に輝いた学校にその成果を披露で
				きる場を提供するとともに、市民がその演奏
				や合唱を鑑賞することで、音楽芸術文化の向
				上を目的とする参加・鑑賞型事業。
	クラシックコンサート	12月21日	819 名	市内企業の出光興産㈱と共同主催し、クラシ
12	「みらいを奏でる音楽	大ホール		ック音楽の公演を実施することで、市原市民
12	会」			に高度な芸術音楽に触れる機会を提供し、文
				化芸術の振興を目的とする鑑賞型事業。
	親子劇場	12月27日	1,009名	優れた舞台芸術の公演を実施することで、こ
	劇団四季ファミリーミ	大ホール		れからの未来を背負って立ついちはらの子
13	ュージカル「ガンバの			供たちに生涯学習の機会を提供するととも
	大冒険」			に、文化芸術の振興を目的とする鑑賞型事
				業。
	エンジン 0 2 in 市原	令和7年	オーフ。ニンク゛	昨年開催されたエンジン01in 市原を一過
1.4		2月1日	シンポ゚シ゛ウム	性のイベントとして終わらせることなく、
14		小ホール	286 名	「学びのまち」のレガシーとして引き継いで
				いくための事業。
	いちはら寄席	2月8日	201 名	日本の伝統話芸である落語を鑑賞する場を
1.5		小ホール		提供し、高い芸術性を備えた娯楽に触れる機
15				会をつくるとともに、豊かな文化と芸術の振
				興を目的とする鑑賞型事業。
	日本太鼓TAKERU	3月15日	364 名	プロの和太鼓グループの公演を実施するこ
10	~猛~コンサート	大ホール		とで、市原市民に高度な舞台技術や音楽に触
16				れる機会を提供し、文化芸術の振興を目的と
		i e	1	

## (3) 受託文化事業

市原市・市原市教育委員会の主催する「更級日記千年紀文学賞授賞式」及び「更級日記千年紀講演会」の運営業務を受託しました。

番号	事 業 名	実施日及び	入場者数	事業概要
		実施会場		
	市原市市制施行 60 周	令和6年	50名	市原市・市原市教育委員会の主催する「更級
1	年記念	12月7日		日記千年紀文学賞授賞式」の運営業務を受託
	第4回更級日記千年紀	小ホール		する事業。
	文学賞授賞式			
	更級日記千年紀講演会	令和7年	161名	市原市・市原市教育委員会の主催する「更級
2	(似鳥鶏 講演会)	2月16日		日記千年紀事業講演会」の運営業務を受託す
		小ホール		る事業。

#### 2 施設管理運営事業

# (1) 施設管理及び施設貸出

#### ①ホール・会議室等の貸出業務

施設貸出業務は、市民が安心・安全に利用できるよう、適切な施設貸出を行いました。令和6事業年度の大ホール・小ホールを合わせたホール棟は、令和7年2月及び3月に臨時的な大ホールのピンスポットライト更新工事があったものの、令和5事業年度と比較し利用件数は横這いで、利用者数は増加しました。一方、会議室等については、令和5事業年度末をもって、年間を通して会議室棟3階の大会議室及び和室2を使用していた新型コロナウイルスワクチン事務局の利用が終了したことから、令和6事業年度の利用件数及び利用者数は減少しました。なお、新型コロナウイルスワクチン事務局の利用を除いた利用件数及び利用者数は、増加となっています。また、新型コロナウイルスワクチン事務局は、令和6年4月から同年7月末まで運営場所を宴会室に移し利用しており、8月以降の宴会室については、臨時的に会議室として使用しております。

ア. 利用件数 (単位:件)

区分	大ホール	小ホール	会議室等	宴会室	計
令和5年度	174	239	1, 939	0	2, 352
令和6年度	194	217	1, 434	6	1, 851
前年度対比	111.4%	90.7%	73.9%	_	78.6%

イ. 利用者数 (単位:人)

区分	大ホール	小ホール	会議室等	宴会室	計
令和5年度	77, 358	36, 140	41, 856	0	155, 354
令和6年度	85, 633	31, 162	37, 147	337	154, 279
前年度対比	110.6%	86.2%	88.7%		99.3%

# ②保守点検·管理業務委託

利用者の安全、安心を最優先に考え、設備機器等の保全を図るため、下記のとおり保守点検等を 委託しました。また、修繕が必要な箇所については、優先順位を付けて限られた修繕予算を有効に 活用しました。

番号	委託業務名
1	建物管理業務委託
2	緑地管理業務委託
3	消防設備保守業務委託
4	昇降機保守業務委託
5	吸収冷温水機保守業務委託
6	ホール舞台保守業務委託
7	ホール照明保守業務委託
8	放送装置保守業務委託
9	ピアノ保守業務委託
10	電話交換機設備保守業務委託
11	一般廃棄物処理業務委託
12	産業廃棄物処理業務委託
13	ストレージタンク性能検査に伴う受検準備整備委託
14	エネルギー施設蒸気ボイラ点検業務委託
15	窒素酸化物濃度測定業務委託
16	飲料水水質検査委託
17	簡易専用水道検査委託
18	舞台運営業務委託

#### Ⅱ 収益目的事業

## 1 宴会室における飲食提供事業

令和6事業年度の飲食提供事業は休止いたしました。

# 2 その他公益目的事業の推進に資する事業

#### (1) チケット受託販売事業

施設利用者へのサービスの充実を図り、広く舞台芸術の鑑賞の機会を促すため、当財団が主催する公演以外のチケットを受託販売する事業を実施しました。

## (2) 施設利用者の利便性向上のための事業

市民会館において、施設利用者の利便性向上とサービスの充実を図るため、看板、飾花、ピアノ調律、弁当等の利用者サービス事業を実施しました。

#### Ⅲ その他の事業

施設利用者へのサービスの充実を図るため、公益目的以外の活動に対しても施設の貸出・維持管理 を行う事業を実施しました。

#### IV その他

# 1 理事会について

回数	開催年月日		提出議案	経過
第1回	6年5月20日	第1号	令和5事業年度公益財団法人市原市文化振興財	原案承認
			団事業報告について	
		第2号	令和5事業年度公益財団法人市原市文化振興財	原案承認
			団収支決算について	
		第3号	令和6事業年度第2回評議員会の開催について	原案可決
第2回	6年6月5日	第4号	常務理事(業務執行理事)の選定について	原案可決
第3回	6年8月19日	第5号	令和6事業年度第3回評議員会の開催について	原案可決
第4回	6年10月1日	第6号	令和6事業年度公益財団法人市原市文化振興財	原案承認
			団事業計画の変更について	
第5回	6年12月16日	第7号	令和6事業年度公益財団法人市原市文化振興財	原案承認
			団収支補正予算(第1号)について	

		第8号	公益財団法人市原市文化振興財団職員給与規程	原案可決
			等の一部改正について	
		第9号	令和6事業年度第4回評議員会について	原案可決
第6回	7年3月7日	第10号	令和6事業年度公益財団法人市原市文化振興財	原案承認
			団収支補正予算(第2号)について	
		第11号	令和7事業年度公益財団法人市原市文化振興財	原案承認
			団事業計画について	
		第12号	令和7事業年度公益財団法人市原市文化振興財	原案承認
			団収支予算について(資金調達及び設備投資の見	
			込みについての原案を含む)	
		第 13 号	特定費用準備資金「自主文化事業実施準備資金」	原案可決
			の計画変更について	
		第14号	役員賠償責任保険の加入について	原案可決
第7回	7年3月27日	第15号	公益財団法人市原市文化振興財団就業規則の一	原案可決
			部改正について	
		第16号	公益財団法人市原市文化振興財団事業年度雇用	原案可決
			職員就業規則の一部改正について	
		第17号	公益財団法人市原市文化振興財団育児休業及び	原案可決
			育児短時間勤務に関する規則の一部改正につい	
			て	
		第18号	公益財団法人市原市文化振興財団職員給与規程	原案可決
			の一部改正について	

<sup>※</sup>令和6事業年度第2回、第3回、第4回、第5回、第6回及び第7回理事会は、決議の省略による。

# 2 評議員会について

回数	開催年月日		提出議案				
第1回	6年4月1日	第1号	号 理事の選任について				
		第2号	監事の選任について	原案可決			
第2回	6年6月5日	第3号	令和5事業年度公益財団法人市原市文化振興財	原案承認			
			団事業報告について				
		第4号	令和5事業年度公益財団法人市原市文化振興財	原案承認			
			団収支決算について				
		第5号	評議員の選任について	原案可決			

		第6号	理事の選任について	原案可決
		第7号	監事の選任について	原案可決
第3回	6年8月28日	第8号	評議員の選任について	原案可決
第4回	6年12月20日	第9号	公益財団法人市原市文化振興財団の役員等の報	原案可決
			酬等及び費用弁償の支給に関する規程の一部改	
			正について	

<sup>※</sup>令和6事業年度第1回、第3回及び第4回評議員会は、決議の省略による。

#### 3 職員に関する事項

#### ① 研修会・講習会

市民サービスの向上と職員の自己啓発、スキルアップを目的に、オンラインで開催された全国公立文化施設協会が実施する全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会に職員全員が受講したのをはじめ、各職員が各会場での研修会、講習会等を受講し、ホールの管理運営や舞台技術、文化振興や事業企画について、知識の習得やスキルアップを図りました。

# ② 職員数の推移

区分	令和4年度末(人)		令和5年月	度末 (人)	令和6年度末(人)		
職務の級	一般職	事業年度雇用職員	一般職	事業年度雇用職員	一般職	事業年度雇用職員	
7	1		1		1		
6	1		1				
5					1		
4	3		3		2		
3	1		1		1		
2	3		3		3		
1	2		2		2		
臨時職等		2		2		2	
職員交流研修生					1		
計	1 1	2	1 1	2	1 1	2	

# 貸 借 対 照 表 令和7年3月31日現在

科 目	当年度	前年度	(早位:口) 増減
I 資産の部	<u> </u>	133 1 /2	₩ <i>11-7</i> 4
1. 流動資産			
現金預金	95,062,005	114,903,285	△ 19,841,280
未収金	41,309,341	43,504,820	△ 2,195,479
前払金	806,102	371,361	434,741
立替金	206,151	82,542	123,609
	0	0	0
流動資産合計	137,383,599	158,862,008	△ 21,478,409
2. 固定資産	20.70007000		
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産	2/222/222	3/333/333	
退職給付引当資産	62,955,340	71,985,887	△ 9,030,547
自主文化事業実施準備資金	26,800,000	30,000,000	△ 3,200,000
特定資産合計	89,755,340	101,985,887	△ 12,230,547
(3) その他固定資産	03/103/010	101/303/007	<u> </u>
車両運搬具	2,023,572	2,023,572	0
十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	9,131,200	9,131,200	0
減価償却累計額	△ 10,308,223	△ 9,931,940	△ 376,283
電話加入権	101,300	101,300	_ 0,200
ソフトウェア	0	51,188	△ 51,188
操延税金資産	2,493,259	2,677,434	△ 184,175
その他固定資産合計	3,441,108	4,052,754	△ 611,646
固定資産合計	96,196,448	109,038,641	△ 12,842,193
資産合計	233,580,047	267,900,649	△ 34,320,602
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	139,102	89,200	49,902
未払金	33,538,253	38,820,668	△ 5,282,415
前受金	1,744,000	2,779,500	△ 1,035,500
預り金	15,882,380	14,516,453	1,365,927
未払法人税等	449,000	1,171,700	△ 722,700
未払消費税等	2,090,000	2,347,600	△ 257,600
流動負債合計	53,842,735	59,725,121	△ 5,882,386
2. 固定負債	, ,	, ,	, ,
退職給付引当金	62,955,340	71,985,887	△ 9,030,547
受入保証金	0	. , ,	. ,
固定負債合計	62,955,340	71,985,887	△ 9,030,547
負債合計	116,798,075	131,711,008	△ 14,912,933
Ⅲ 正味財産の部	, ,	, ,	, ,
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
2. 一般正味財産	113,781,972	133,189,641	△ 19,407,669
(うち特定資産への充当額)	30,000,000	30,000,000	0
正味財産合計	116,781,972	136,189,641	△ 19,407,669
負債及び正味財産合計	233,580,047	267,900,649	△ 34,320,602

# <u>正味財産増減計算書</u> 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

	 科 目	当年度	前年度	増減
Ι				
	1. 経常増減の部			
	(1)経常収益			
	基本財産運用益	60	60	0
	基本財産受取利息	60	60	0
	特定資産運用益	16,532	1,285	15,247
	特定資産受取利息	16,532	1,285	15,247
	事業収益	242,764,628	256,441,760	△ 13,677,132
	施設管理事業収益	148,861,719	150,492,318	△ 1,630,599
	指定文化事業収益	29,988,964	50,807,593	△ 20,818,629
	自主文化事業収益	8,342,753	534,815	7,807,938
	受託文化事業収益	1,693,500	1,485,000	208,500
	施設貸出事業収益	49,620,565	50,164,100	△ 543,535
	飲食提供事業収益	0	0	0
	受託販売事業収益	2,348,973	1,126,622	1,222,351
	利便性向上事業収益	1,908,154	1,831,312	76,842
	雑収益	671	796	△ 125
	雑収益	164	788	△ 624
	受取利息	507	8	499
	経常収益計	242,781,891	256,443,901	△ 13,662,010
	(2)経常費用			
	事業費	259,805,453	271,526,050	△ 11,720,597
	出演料	32,609,368	48,855,869	△ 16,246,501
	仕入	749,502	668,838	80,664
	給料手当	76,766,459	76,443,807	322,652
	役員報酬	4,667,518	4,585,830	81,688
	退職給付費用	11,107,942	10,542,180	565,762
	法定福利費	12,443,464	12,972,764	△ 529,300
	福利厚生費	404,812	456,189	△ 51,377
	光熱水費	36,992,103	33,342,602	3,649,501
	旅費交通費	8,337	6,839	1,498
	消耗品費	4,277,937	3,737,075	540,862
	印刷製本費	45,200	0 52 162	45,200
	図書購入費	40,008	53,162	△ 13,154
	委託料	60,178,030	58,828,685	1,349,345
	賃借料	3,570,143	6,845,102	△ 3,274,959
	燃料費	36,854	43,952	△ 7,098
	広告宣伝費	5,678,820	4,603,827	1,074,993
	通信運搬費	1,153,795	1,059,677	94,118
	租税公課	134,604	175,500	△ 40,896
<u></u>	修繕費	3,993,605	3,993,106	499

科 目	当年度	前年度	増減
支払手数料	2,985,975	2,076,101	909,874
負担金	187,610	187,610	0
経理費	615,000	615,000	0
保険料	314,040	355,910	△ 41,870
雑支出	416,856	601,949	△ 185,093
減価償却費	427,471	474,476	△ 47,005
管理費	1,750,314	1,688,941	61,373
給料手当	775,405	772,145	3,260
役員報酬	497,137	379,309	117,828
退職給付費用	112,201	106,486	5,715
法定福利費	125,685	131,030	△ 5,345
福利厚生費	4,089	4,606	△ 517
旅費交通費	47,512	20,878	26,634
修繕費	79,640	60,918	18,722
印刷製本費	0	100,800	△ 100,800
交際費	5,000	0	5,000
消耗品費	7,000	7,500	△ 500
広告宣伝費	0	0	0
研修費	15,387	0	15,387
保険料	70,000	70,000	0
雑支出	11,258	35,269	△ 24,011
経常費用計	261,555,767	273,214,991	△ 11,659,224
当期経常増減額	△ 18,773,876	△ 16,771,090	△ 2,002,786
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
雑損失	618	6,894	△ 6,276
経常外費用計	618	6,894	△ 6,276
当期経常外増減額	△ 618	△ 6,894	6,276
税引前当期一般正味財産増減額	△ 18,774,494	△ 16,777,984	△ 1,996,510
法人税、住民税及び事業税	449,000	1,171,700	△ 722,700
法人税等調整額	184,175	△ 519,029	703,204
当期一般正味財産増減額	△ 19,407,669	△ 17,430,655	△ 1,977,014
一般正味財産期首残高	133,189,641	150,620,296	△ 17,430,655
一般正味財産期末残高	113,781,972	133,189,641	△ 19,407,669
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	116,781,972	136,189,641	△ 19,407,669

# 正味財産増減計算内訳書

令和6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

科目	公益目的	事業会計			収益事業等会計				(単位:円)
	公1	小計	収1	収2	他1	共通	小計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1)経常収益									
基本財産運用益	60	60	0	0	0	0	0	0	60
基本財産利息収益	60	60					0		60
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	16,532	16,532
特定資産利息収益		0					0	16,532	16,532
事業収益	188,886,936	188,886,936	0	4,257,127	49,620,565	0	53,877,692	0	242,764,628
施設管理事業収益	148,861,719	148,861,719					0		148,861,719
指定文化事業収益	29,988,964	29,988,964					0		29,988,964
自主文化事業収益	8,342,753	8,342,753					0		8,342,753
受託文化事業収益	1,693,500	1,693,500							1,693,500
施設貸出事業収益		0			49,620,565		49,620,565		49,620,565
飲食提供事業収益		0	0				0		0
受託販売事業収益		0		2,348,973			2,348,973		2,348,973
利便性向上事業収益		0		1,908,154			1,908,154		1,908,154
雑収益	100	100	0	0	0	0	0	571	671
雑収益	100	100				0	0	64	164
受取利息		0	0				0	507	507
経常収益計	188,887,096	188,887,096	0	4,257,127	49,620,565	0	53,877,692	17,103	242,781,891
(2)経常費用									
事業費	210,268,385	210,268,385	0	3,009,348	46,527,720	0	49,537,068		259,805,453
出演料	32,609,368	32,609,368					0		32,609,368
仕入	0	0	0	749,502			749,502		749,502
給料手当	61,258,083	61,258,083	0	775,405	14,732,971		15,508,376		76,766,459
役員報酬	3,724,587	3,724,587	0	47,137	895,794		942,931		4,667,518
退職給付費用	8,863,914	8,863,914	0	112,201	2,131,827		2,244,028		11,107,942
法定福利費	9,929,651	9,929,651	0	125,685	2,388,128		2,513,813		12,443,464
福利厚生費	323,031	323,031	0	4,089	77,692		81,781		404,812
光熱水費	27,744,078	27,744,078			9,248,025		9,248,025		36,992,103

旅費交通費	8,337	8,337	0				0		8,337
消耗品費	3,515,594	3,515,594	0		762,343		762,343		4,277,937
印刷製本費	33,900	33,900	0		11,300		11,300		45,200
図書購入費	30,003	30,003			10,005		10,005		40,008
委託料	45,482,830	45,482,830	0	306,000	14,389,200		14,695,200		60,178,030
賃借料	3,322,073	3,322,073	0	0	248,070		248,070		3,570,143
燃料費	27,640	27,640			9,214		9,214		36,854
広告宣伝費	5,678,820	5,678,820	0		0		0		5,678,820
通信運搬費	987,745	987,745	0		166,050		166,050		1,153,795
租税公課	112,291	112,291	0	600	21,713		22,313		134,604
修繕費	2,995,202	2,995,202			998,403		998,403		3,993,605
支払手数料	1,960,248	1,960,248		880,702	145,025		1,025,727		2,985,975
負担金	138,830	138,830	0	1,877	46,903		48,780		187,610
経理費	455,100	455,100	0	6,150	153,750		159,900		615,000
保険料	235,530	235,530			78,510		78,510		314,040
雑支出	416,856	416,856					0		416,856
減価償却費	414,674	414,674			12,797		12,797		427,471
管理費								1,750,314	1,750,314
給料手当								775,405	775,405
役員報酬								497,137	497,137
退職給付費用								112,201	112,201
法定福利費								125,685	125,685
福利厚生費								4,089	4,089
旅費交通費								47,512	47,512
修繕費								79,640	79,640
印刷製本費								0	0
交際費								5,000	5,000
消耗品費								7,000	7,000
広告宣伝費								0	0
研修費								15,387	15,387
保険料								70,000	70,000
雑支出								11,258	11,258
経常費用計	210,268,385	210,268,385	0	3,009,348	46,527,720	0	49,537,068	1,750,314	261,555,767

当期経常増減額	△ 21,381,289	△ 21,381,289	0	1,247,779	3,092,845	0	4,340,624	△ 1,733,211	△ 18,773,876
2. 経常外増減の部									
(1)経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用	464	464	0	0	154	0	154	0	618
雑損失	464	464	0	0	154	0	154	0	618
固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	△ 464	△ 464	0	0	△ 154	0	△ 154	0	△ 618
他会計振替額	2,003,447	2,003,447	0	△ 613,753	△ 1,389,694	0	△ 2,003,447	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 19,378,306	△ 19,378,306	0	634,026	1,702,997	0	2,337,023	△ 1,733,211	△ 18,774,494
法人税、住民税及び事業税		0				449,000	449,000		449,000
法人税等調整額		0				184,175	184,175		184,175
当期一般正味財産増減額	△ 19,378,306	△ 19,378,306	0	634,026	1,702,997	△ 633,175	1,703,848	△ 1,733,211	△ 19,407,669
一般正味財産期首残高	110,445,967	110,445,967	40,393,718	12,551,518	76,551,175	△ 72,835,772	56,660,639	△ 33,916,965	133,189,641
一般正味財産期末残高	91,067,661	91,067,661	40,393,718	13,185,544	78,254,172	△ 73,468,947	58,364,487	△ 35,650,176	113,781,972
Ⅱ 指定正味財産増減の部									
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000					0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000					0	0	3,000,000
Ⅲ 正味財産期末残高	94,067,661	94,067,661	40,393,718	13,185,544	78,254,172	△ 73,468,947	58,364,487	△ 35,650,176	116,781,972

#### ※事業区分について

公益目的事業(公1)・・・芸術文化、生涯学習及びコミュニティの振興に関する事業

収益事業等 (収1)・・・・宴会室における飲食提供事業

収益事業等 (収2)・・・その他公益目的事業の推進に資する事業(チケット受託販売事業、施設利用者の利便性向上のための事業)

収益事業等 (他1)・・・・市原市から指定された施設の管理運営事業(公益目的以外の施設貸出事業)

# 財務諸表に対する注記

## 1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法によっている。

ソフトウェア 定額法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金 自己都合退職による期末退職給与の要支給額100%に相当する

金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理 税抜き方式によっている。

(4) 税効果会計の適用 法人税等の金額を合理的に期間対応させ、より適正な正味財産

増減額を計上するため税効果会計を適用している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
小計	3,000,000	0	0	3,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	71,985,887	11,220,143	20,250,690	62,955,340
自主文化事業実施準備資金	30,000,000	3,800,000	7,000,000	26,800,000
小計	101,985,887	15,020,143	27,250,690	89,755,340
合 計	104,985,887	15,020,143	27,250,690	92,755,340

# 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債の対応 する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	3,000,000	0	_
小計	3,000,000	3,000,000	0	-
特定資産				
退職給付引当資産	62,955,340	0	0	62,955,340
自主文化事業実施準備資金	26,800,000	0	26,800,000	0
小計	89,755,340	0	26,800,000	62,955,340
合 計	92,755,340	3,000,000	26,800,000	62,955,340

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高(直接法による減価償却を 行っているもの)

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア(公益法人会計DX)	383,884	383,884	0
ソフトウェア(給与DX)	201,883	201,883	0
ソフトウェア(固定資産DX)	152,533	152,533	0
ソフトウェア(調定用ソフト)	936,000	936,000	0
合計	1,674,300	1,674,300	0

#### 5 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	<b>当</b> 州不没同
退職給付引当金	71,985,887	11,220,143	20,250,690	0	62,955,340

## 6 税効果会計関係

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

一時差異名	前期末残高	当期末残高	増減額
未払事業税	58,464	18,815	△ 39,649
退職給与引当金	2,618,970	2,474,444	△ 144,526
合 計	2,677,434	2,493,259	△ 184,175

- 7 関連当事者との取引 該当事項はありません。
- 8 重要な後発事象 該当事項はありません。

# 附属明細書

- 1 基本財産及び特定資産の明細 財務諸表に対する注記 2、3 に記載をしているので、内容の記載を省略している。
- 2 引当金の明細

財務諸表に対する注記5に記載をしているので、内容の記載を省略している。

# <u>財 産 目 録</u> 令和7年3月31日現在

			1	(単位:円)
貸借対照表科目		場所·物量等	使用目的等	金額
I 資産の部				
1. 流動資産				
工 加利貝圧	旧人站人			
	現金預金		\	
	現金	手元保管	運転資金	454,660
	普通預金	千葉銀行 市原市役所出張所	運転資金、指定管理料	55,640,303
		千葉銀行 市原市役所出張所	運転資金、自主財源	27,135,032
		千葉興業銀行 五井支店	"	946,485
		京葉銀行 国分寺台支店	"	465,094
		千葉信用金庫 五井支店	"	155,595
		館山信用金庫 若宮支店	"	132,281
		みずほ銀行 五井支店	"	1,961
				•
		市原市農業協同組合 本店	<i>''</i>	130,594
	定期預金	千葉銀行 市原市役所出張所	職員退職手当未払分	10,000,000
	未収金		2.3月分指定管理料等	41,309,341
	前払金		R7年度文化事業費	806,102
	立替金		ハ・イダヘロデ木具	
				206,151
	未収消費税			0
流動資産合計				137,383,599
2. 固定資産				<u>-</u>
(1) 基本財産				
(1) 27771/12	定期預金	みずほ銀行五井支店	公益目的保有財産であり、運用	3,000,000
	インショング			3,000,000
	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #		益を公益目的事業の財源として	2 622 255
	基本財産合計		使用	3,000,000
(2) 特定資産				
	退職給付引当資産			62,955,340
	普通預金		職員の退職手当支払準備	8,569,191
				• •
	定期預金	みずほ銀行五井支店		7,000,000
		千葉興業銀行 五井支店	"	10,000,000
		京葉銀行 国分寺台支店	"	10,000,000
		千葉信用金庫 五井支店	"	7,386,149
		館山信用金庫 若宮支店	"	10,000,000
		市原市農業協同組合 本店	"	
		171次171辰未励问祖口 平占		10,000,000
	自主文化事業実施準備資金		将来の自主文化事業財源として使用	26,800,000
	普通預金	千葉銀行 市原市役所出張所		26,800,000
	特定資産合計			89,755,340
(3) その他固定				23,, 23,310
			公田市	2 022 572
	車両運搬具		公用車	2,023,572
	什器備品		アウトリーチ機材等	9,131,200
	減価償却累計額			△ 10,308,223
	電話加入権			101,300
	ソフトウェア			101,000
			HAHRAFIN	2 402 252
	繰延税金資産		税効果会計分	2,493,259
	その他固定資産合計			3,441,108
固定資産合計				96,196,448
資産合計				233,580,047
Ⅱ 負債の部				200,000,017
1. 流動負債	mu A			
	買掛金		3月分仕入	139,102
	未払金		退職金、事業費等	33,538,253
	前受金		R7年度文化事業チケット代	1,744,000
	預り金		受託販売チケット代等	15,882,380
			又のは以びはアプラドリの寺	
	未払消費税等			2,090,000
	未払法人税等			449,000
流動負債合計				53,842,735
2. 固定負債			1	. ,
	退職給付引当金		職員の退職手当支払準備	62 055 240
国点を使るこ	と		地央ツ巡戦ナコメが年間	62,955,340
固定負債合計				62,955,340
負債合計				116,798,075
正味財産				116,781,972
		t e e e e e e e e e e e e e e e e e e e	1	